

子どもの生活実態調査の結果と活用について

篠木 正明 議員

質問 子どもの生活実態調査の目的は何ですか。

答 今後の子育て環境の整備や子どもの貧困対策等

に関する、より効果的な施策の取り組みを検討するために実施したものです。

質問 クロス集計分析をしています。分析項目はどのように決めたのですか。

答 関係各課や子ども・子育て会議の委員の意見も聞いて分析を行いました。

質問 大泉町では、設問を設け、それに対してクロス集計を2つから3つ行った上でまとめをするという分析を行っています。館林市でもこのような集計分析が必要だと思いますが、どのように考えますか。

大泉町の調査報告書を見ましたが、大変よくできていると思います。館林市でも再度集計を、命題を立ててやっていきたいと考えています。

質問 「子どもの学習支援事業の中学生への拡充」がありますが、対象の拡充だけでなく、内容の拡充も必要だと思います。家庭訪問など内容の拡充はどうするのですか。

1の問題もあり、直営が好ましい場合があります。現在は事業委託し、集合型で行っていますが、将来的には委託と直営の併用など、新たな学習支援のあり方を検討したいと考えています。

質問 「こども食堂等子ども居場所運営団体との連携強化」とありますが、現状と課題をお答えください。

市民団体の「あかるい未来ネット」がこども食堂を運営しています。市としては、場所の提供やポスト

の問題もあり、直営が好ましい場合があります。現在は事業委託し、集合型で行っていますが、将来的には委託と直営の併用など、新たな学習支援のあり方を検討したいと考えています。

安全安心なまちづくりと高齢者通院タクシー事業の拡充を

小林 信 議員

防犯カメラの設置を

質問 子どもの通学路や公園に防犯カメラを設置することは、子を持つ親とすれば安全安心のためにも必要と思われ、全国的にもいろいろな取組がされており、広島県福山市では、市が単独で設置するのではなく、自治会を中心として設

置する補助制度を行っており、カメラ1台につき80万円を限度に最大で購入費や工事費の9割の補助を行っています。犯罪のない安全安心なまちづくりのために防犯カメラの設置を進めるべきではないですか。

は現在、小・中学校や駅前などの公共施設に79基設置されており、本市では、街灯などに防犯カメラを設置することは検討しておりません。今後は警察、行政区等の関係機関や団体と防犯に関する情報交換をしながら、防犯カメラの設置のあり方について研究してまいりたいと思います。

質問 館林市の高齢者通院等タクシーの助成事業は、医療機関に行く場合に限り

高齢者いきいきプランでは、高齢者が大切にされて生きがいを持って暮らせるまちづくりを進めるとあります。ことから、もっと光を当て

答 交通弱者対策の必要性は、少子高齢化対策の重要な課題の一つと認識しております。先進地事例や関係機関、団体の情報を参考にしながら、身の丈に合った持続可能な対策について研究したいと考えております。